

スマートフォン・携帯電話等の利用に関するアンケート調査結果

平成 30. 12. 12 蒲郡市青少年センター

1 調査の概要

【調査目的】 スマートフォンや携帯電話、ゲーム機などを利用したインターネット上のトラブルを防止するために、市内の小中学校及び青少年センターでは、児童生徒への指導や保護者への啓発活動を進めている。平成 26 年度に実施したアンケート調査結果と比較しながら、こうした指導や啓発活動の効果を確認すると共に、今後一層効果的な指導や啓発活動を展開するため、今回の調査を実施した。

【調査対象】 蒲郡市立小学校全 13 校、蒲郡市立中学校全 7 校。小学 5 年生から中学 3 年生

【調査時期】 平成 30 年 10 月 11 日から平成 30 年 11 月 14 日

【抽出方法】 対象校へ、調査対象学年からそれぞれ 1 クラスを選んでもらい、そのクラスの全員に対して実施。

【調査方法】 質問紙を用いた集合調査

【回答数及び抽出率】

	在籍数	回答数	抽出率
小 5	699	314	44. 9
小 6	710	318	44. 8
中 1	701	185	26. 4
中 2	712	190	26. 7
中 3	709	210	29. 6

※在籍数は市内小中学校に在籍している児童生徒数。

【男女比率】

	男子	女子	不明
小 5	52. 2	47. 5	0. 3
小 6	47. 5	50. 9	1. 6
中 1	52. 4	43. 8	3. 8
中 2	47. 9	50. 5	1. 6
中 3	51. 9	47. 1	1. 0

※回答数を 100 とした百分率で示している。

2 調査結果

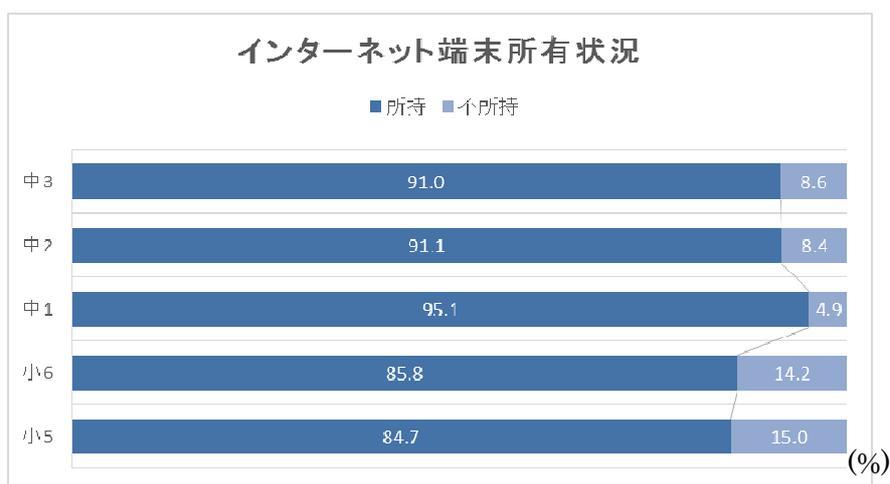
調査結果は特に断りのない限り、回答数を 100 とした百分率で示している。

◎スマホ、タブレット所持率は増加

自分専用で使えるインターネット端末の所持率は全学年 9 割近いが、この傾向は前回調査とあまり変化はなかった。〈グラフ 1～2〉

スマートフォン、タブレットは前回調査に比べて増加した。一方、ゲーム機、音楽プレイヤーは減少している。小学生の携帯電話所持率が上がっている。〈グラフ 3～5〉

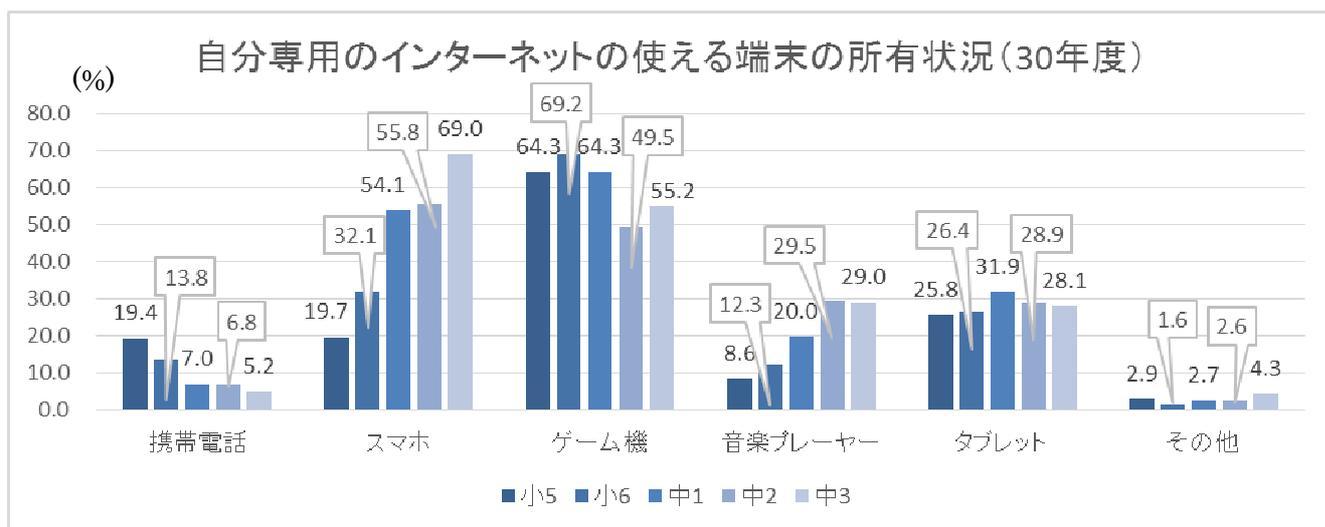
問 あなたは自分専用で使える 携帯電話やスマートフォン、インターネットにつながるゲーム機、音楽プレイヤー、タブレットなどを持っていますか。(1つだけ○)



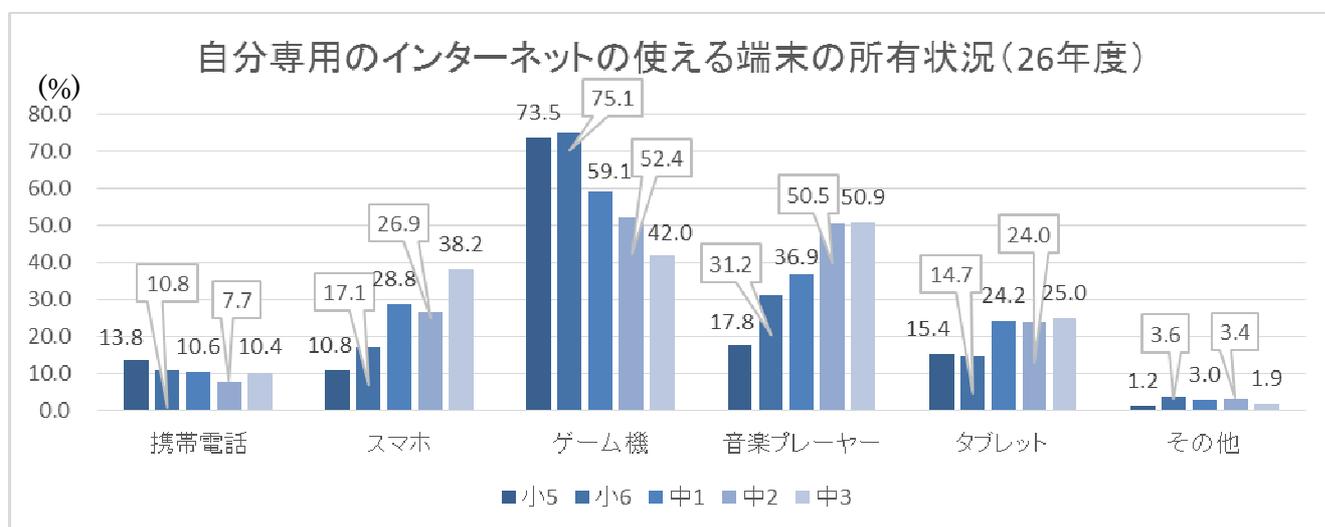
グラフ 1 インターネットの使える端末の保有率 (30 年度)



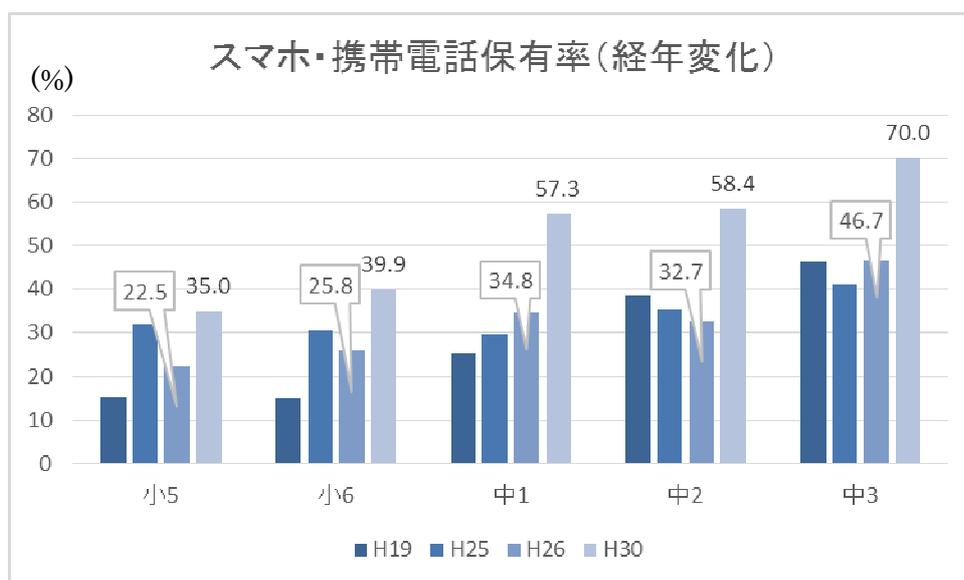
グラフ 2 インターネットの使える端末の保有率 (26 年度)



グラフ3 インターネットの使える端末の所有状況(30年度)

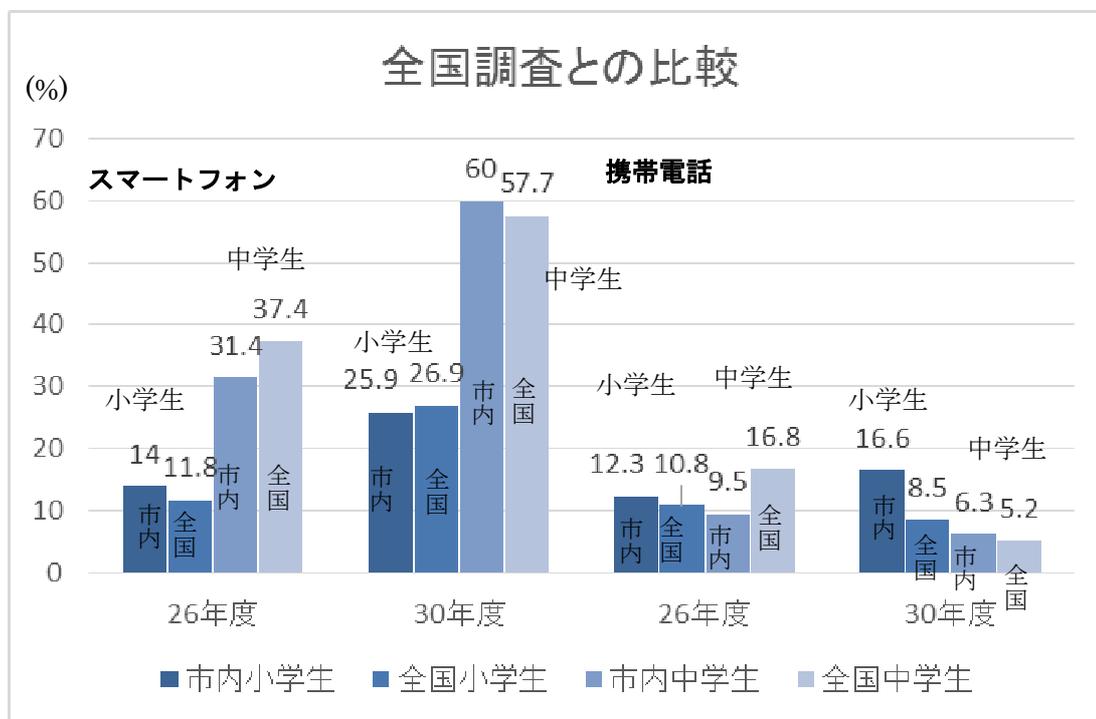


グラフ4 インターネットの使える端末の所有状況(26年度)



グラフ5 スマホ・携帯電話保有率の経年変化

市内の子どもたちのスマートフォン及び携帯電話の所有状況を全国平均と比較すると、同等またはより高い所持率であった。（なお、全国調査は 29 年度調査のものを使用している。2019 年 3 月頃平成 30 年 11 月調査結果が発表される。）＜グラフ 6＞



グラフ 6 全国調査との比較

※全国調査出典

内閣府 平成 26 年度青少年のインターネット利用環境実態調査

平成 29 年度青少年のインターネット利用環境実態調査

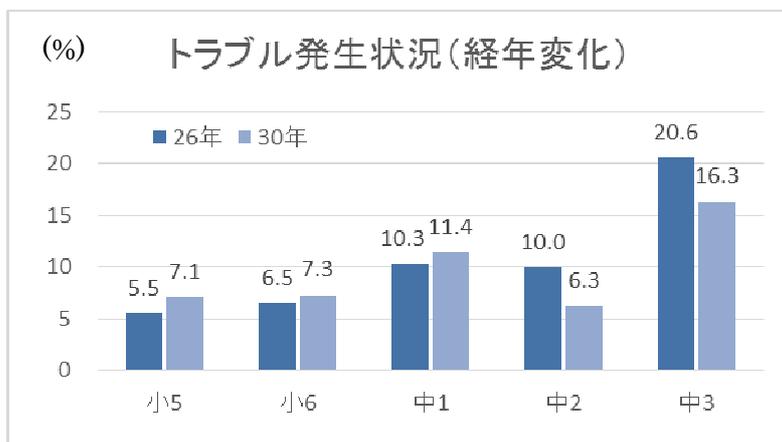
(調査時期 平成 29 年 11 月～12 月)

◎インターネット上のトラブルは低年齢化が進む

スマホや携帯電話、ゲーム機などインターネットに接続できる端末を所持し、利用している子どもたちの 11.5%（全学年）が、自分の心を傷つけられた、お金の請求が来た、ネットで知り合った人から誘われたなどの「トラブルにあった」「トラブルにあったかも知れない」と回答している。学年が進むにつれ、トラブル経験が高くなる傾向だが、前回調査と比べると、中学 2～3 年生のトラブルが減少している。

一方、小学生でのトラブル発生が増加していることから、啓発活動は小学校を重点的に実施することが求められていると言える。＜グラフ 7 参照＞

問 あなたはスマートフォン・ゲーム機などを使っていて、トラブル(自分の心を傷つけられる目にあう、お金の請求がくる、ネットで知り合った人から誘われる、会ったことのない人に自分の写真を送るなど)に巻き込まれたり、巻き込まれそうになったりしたことがありますか。(1つだけ○)



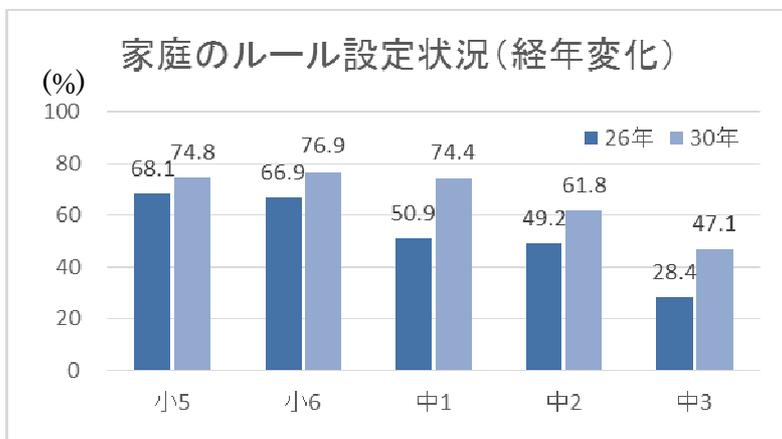
グラフ7 インターネット上でのトラブル発生状況

◎ルールを決めている子どもが増えている

こうしたトラブルやインターネット利用における危険を回避するため、利用についてのルール決めが必要さが言われているが、そのルール設定の実態について調査した。

スマホや携帯、ゲーム機などを利用するに当たって、それぞれの家庭でルールを決めているかの質問をしたところ、すべての学年で決めていると答えた子どもが増えた。<グラフ 8 >

問 あなたの家庭ではスマートフォン・ゲーム機などの使い方のルールを決めていますか。



グラフ8 家庭内ルールの設定状況

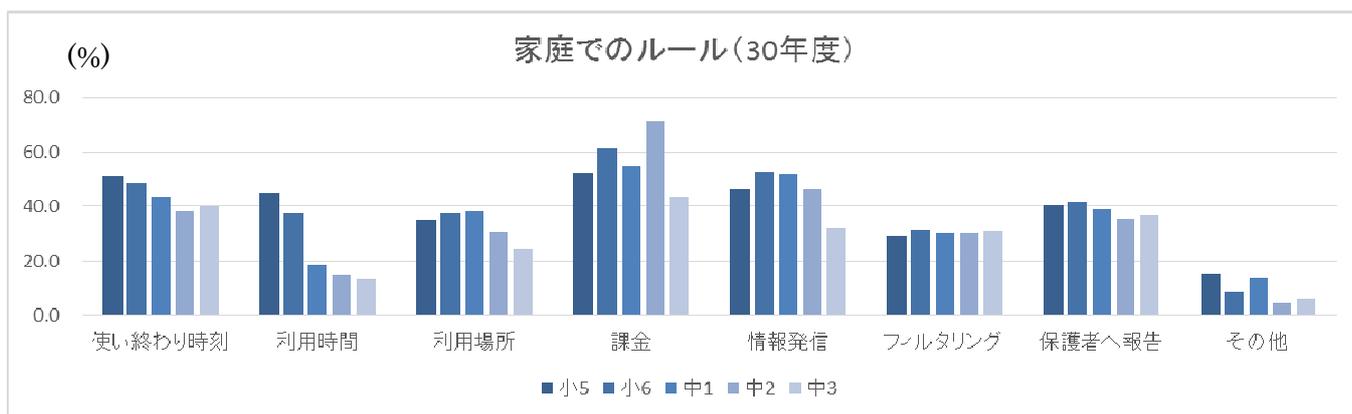
◎ 「お金のこと」「使い終わり時間」「情報発信の約束」

それぞれの家庭でどのような利用上のルールを設けているかの質問をしたところ、グラフ9のようになった。情報発信、フィルタリング、困ったことがあったら、保護者に報告するの項目で増加が見られた。トラブルを防止し、インターネットを安全に使うために大切な項目であるだけに、啓発活動の効果が現れていると思われる。

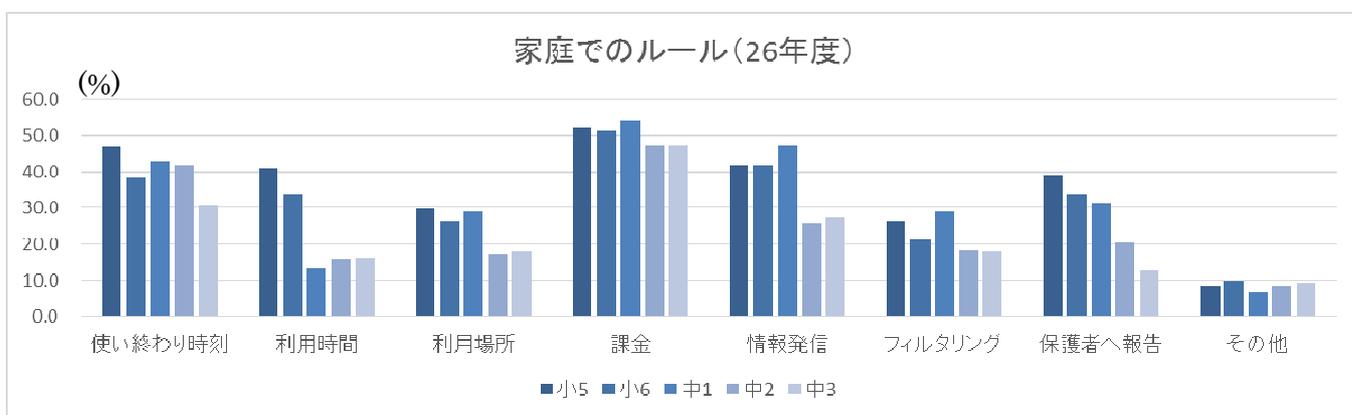
「使い終わり時刻を決めている」と回答した子どもたちに、具体的に終了時刻を尋ねたところ、小学生では、午後9時が最も多く、中学生では10時と回答した子どもが最も多かった。〈表1〉

また、「1日の利用時間を決めている」と回答した子どもたちに、その利用時間を尋ねると「1時間以内」が最も多かった。〈表2〉

問 どのようなルールですか。(いくつでも〇)



グラフ9 家庭内ルールの内容(30年度)



グラフ10 家庭内ルールの内容(26年度)

表1 使い終わり時刻のルール（平成30年度）

学年	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00
小5	7.9	1.0	13.9	3.0	43.6	4.0	9.9	0.0	0.0
小6	6.9	0.0	13.7	1.0	30.4	2.9	20.6	0.0	1.0
中1	3.5	0.0	1.8	0.0	36.8	3.5	33.3	0.0	1.8
中2	0.0	0.0	2.4	0.0	26.8	2.4	36.6	0.0	7.3
中3	5.6	0.0	5.6	2.8	5.6	5.6	38.9	5.6	13.9

※終了時刻のルールを決めていると答えた人数を100とした百分率

表2 平日1日当たりの制限時間のルール(平成30年度)

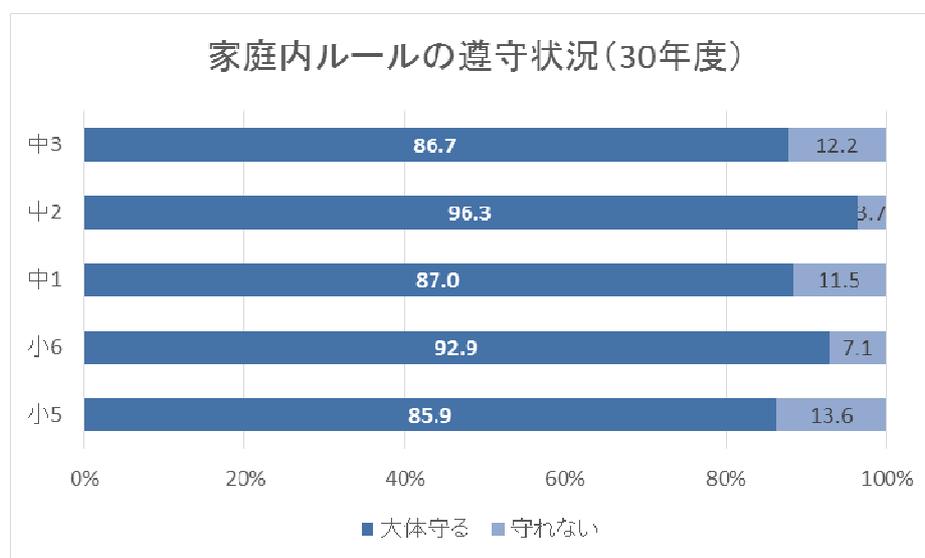
学年	30分	1時間	1時間30分	2時間	2時間30分	3時間以上
小5	20.0	27.8	17.8	16.7	2.2	5.6
小6	13.9	30.4	10.1	24.1	2.5	6.3
中1	12.5	20.8	16.7	16.7	0.0	16.7
中2	12.5	31.3	6.3	31.3	0.0	0.0
中3	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7

※1日当たりの制限時間のルールを決めていると答えた人数を100とした百分率

○「守れている」と答えた子どもは90%

最後に、家庭で決めたルールを子どもたちが守れているかの質問をしたところ、グラフ11のように、子ども調査ではほぼ90%の子どもが「大体守れている」と回答している。一方、ルールを守れないと答えた子が57人あった。使っていると楽しくてやめられないからという理由を答えたのが7割を超えた。

問 あなたは上記で答えた「家庭でのルール」を守っていますか。



グラフ11 家庭内ルールの遵守状況

3 まとめ

今回のアンケート調査では、スマホや携帯、ゲーム機などの所持率だけでなく、家庭でのルール作りとその遵守の実態を明らかにしようとした。

前述したとおり、子どもたちのスマホや携帯の所持率は、前回調査より2倍近く増加した。一方で、子どもたちに所持させる場合も「利用のルール」を設定する保護者が多くいるという実態も見られた。

インターネットを利用する中で、トラブルがあったと答えた中学生が減少していることから、中学校における啓発活動の効果が上がっているものといえる。一方トラブルがあったと答えた小学生が増えていることから、啓発活動は小学生を中心に行っていく必要を感じた。

子どもたちが成長するにつれ、いつかはほとんどがスマホなどを所持することになるだろう。そのときまでに、「持たせる、持たせない」での子どもとの話し合い、また、持たせる時点での「ルール作り」での話し合いなどを通して、スマホや携帯が持つ利便性と危険性の両面について子どもたちに理解させていくことが大切であろう。